

機械器具 16 体温計

管理 電子体温計 (JMDN コード: 14032010)

テルモ電子体温計 C 2 0 2

(コード番号: ET-C202S, ET-C202H)

【警告】

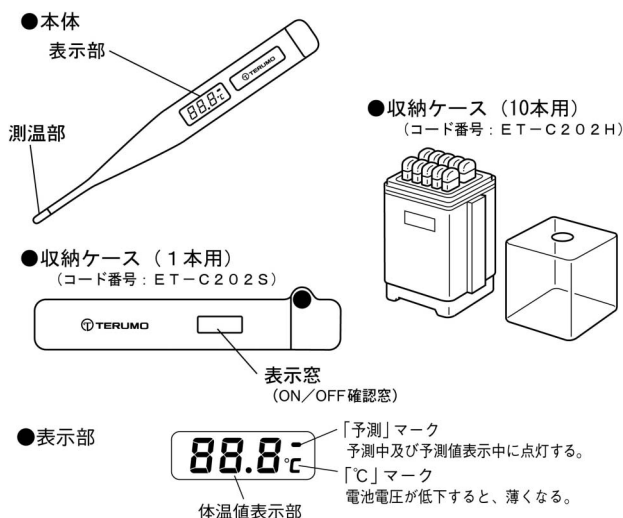
<使用方法>

- ・子供だけで使わないこと。
[本品の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをする可能性がある。]

- ・定刻ブザー機能(告知機能) : 検温開始から約 10 分後にブザーが鳴動する。
- ・エラー表示機能(告知機能) : 検温不良時、ブザーが鳴動し、表示部に「E」を表示する。
- ・電源入切機能(電源制御機能) : 収納ケースへの出し入れて電源が ON/OFF する。

【形状・構造及び原理等】

<構造図>



<原理>

本品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、検温開始から約 4 分 30 秒までは予測値、それ以降は実測値の最高値をデジタルで表示する。検温中は、約 50 ～ 120 秒 (平均 90 秒) の時間に予測が成立したことを知らせるブザーが鳴り、検温をそのまま続けると約 10 分後に実測検温終了のブザーが鳴る。

【機器の分類】

電撃に対する保護の形式による分類: 内部電源機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類: B F 形装着部
水の有害な浸入に対する保護の程度による分類: I P X 7

【電気的定格】

電 源: リチウム電池 (CR1025) 1 個 (交換不可)
電 圧: DC 3.0 V
消費電力: 約 0.3 mW

本品は EMC 規格 IEC 60601-1-2: 2001 に適合している。

【付帯機能】

- ・初期動作確認機能(告知機能) : 電源 ON 時に所定の表示を行い検温可能を告知する。
- ・予測成立ブザー機能(告知機能) : 予測成立時にブザーが鳴動する。

【使用目的、効能又は効果】

<使用目的>

本品は測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示をすること。

【品目仕様等】

【特性・性能又は機能に関する規格】

- ・最高温度保持機能: 実測表示に切替え後は、実測した最高の温度値を保持し、検温を終了しても電源が OFF されるまで表示を維持する
- ・デジタル表示: 3 桁
- ・最大許容誤差 (温度指示精度) : $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ 以内
(標準温度計に対して)
- ・電源電圧: 「℃」マークの表示が薄くなる直前の電圧における温度表示値が $\pm 0.2^{\circ}\text{C}$ 以内
- ・防 浸: 試験前後の温度表示値の差が $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ 以内
- ・測温範囲: $32.0 \sim 42.0^{\circ}\text{C}$
- ・最小表示単位: 0.1°C
- ・測定範囲外告知 (オーバー表示機能) : 測定温度が 42.0°C を超えると表示部に「0」を表示し、測定範囲外を告知する

【その他の仕様】

種 類: 一般用 測温部一体形 防浸形
測温方式: 予測式 (予測検温・実測検温兼用)
検温部位: 腋下
検温時間: 予測検温時間 約 50 ～ 120 秒 (平均 90 秒)
測定開始後、約 4 分 30 秒後実測表示に切替
実測検温時間 約 10 分
使用条件: 周囲温度 $10 \sim 40^{\circ}\text{C}$ 相対湿度 $30 \sim 85\% \text{RH}$
(ただし、結露なきこと)

【操作方法又は使用方法等】

【測定方法】

1. 体温計本体を収納ケースから取り出す (電源が ON する)。
2. ワキ下中央に体温計の先端 (測温部) をあてる。
3. 体温計をななめ下から 30° くらいの角度で、押し上げるようにはさみ、ワキをしっかりしめる。
4. ブザーを聞いてから体温計を取り出す。
 - ・予測検温
最初のブザーで取り出す (約 50 ～ 120 秒で測れ、「予測」マークが点灯している)。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ・実測検温
2度目のブザーが鳴るまで待つて取り出す（約10分で測れ、「予測」マークが消えている）。
より厳密な体温を測定するには、実測検温を行う。
- 5. 収納ケースに収める（電源がOFFする）。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- ・体温は時間帯、気温、睡眠、感情等の要因で常に変動しているので、平熱をあらかじめ検温しておくこと。
- ・飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待つてから測ること。〔正確な検温ができないことがある。〕
- ・ワキ下に汗をかいている場合は、タオル等で汗を拭き取ること。〔汗をかいたまま測ると、ワキ下が冷えているために正確な検温ができない。〕
- ・体温計を真横からはさまないこと。〔先端（測温部）がワキ下中央に正しくあたらないために、正確な検温ができない。〕
- ・検温中は体を動かしたり、体温計を動かしたりしないこと。〔体温計の測温部が正しい位置からずれると、正確な検温ができないことがある。〕
- ・ワキ下に強く密着させて測定すること。〔お年寄り、やせている方等で、ワキ下の密着が弱い場合は、正確な検温ができない可能性がある。〕
- ・くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端（測温部）を冷ましてから検温すること。〔そのまま測ると、検温値が高くなることがある。〕
- ・取り出してから表示値が変化したときは、変化後の（固定した）値を読み取ること。〔予測演算が終了するまで若干の時間がかかるため。〕
- ・数値を読み取る際、体温計の先端（測温部）に触れないこと。〔表示が変化することがある。〕
- ・表示が点滅するときは、最初から検温をやりなおすこと。
- ・ブザーが止まらないときは、いったん収納ケースに戻してから、再度検温すること。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・人の体温測定以外に使用しないこと。〔けがの可能性がある。誤作動や故障の原因となる。〕
- ・添付文書及び取扱説明書を確認の上、使用すること。
- ・ワキ下以外（口中等）で使用しないこと。〔誤飲やけがの可能性がある。正確な検温ができない。〕
- ・使用の前に、外観に破損等がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しないこと。〔検温値の異常や、けがの可能性がある。〕
- ・破損したものは使用しないこと。〔検温値の異常や、けがの可能性がある。〕
- ・強くかまない、落とさない、強いショックを与えない、曲げない、引っ張らないこと。〔破損や故障の原因となる。〕
- ・強い静電気や電磁波、磁石等に近づけたり、近くで携帯電話を使用しないこと。〔誤作動や故障の原因となる。〕
- ・分解、修理、改造は行わないこと。〔破損や故障の原因となる。〕

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

- ・暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気の多いところを避けて保管すること。
保管条件：周囲温度 -10～50℃ 相対湿度 30～95%RH
（ただし、結露なきこと）

【保管上の注意】

- ・日光や紫外線等の強い光があたる場所に保管したり、長時間放置しないこと。〔外装の変色や劣化が発生することがある。〕
- ・収納ケースに磁気テープ、磁気カード、フロッピーディスク等を近づけないこと。〔内蔵されている磁石の影響で磁気記録された内容が損なわれる原因となる。〕
- ・必ず収納ケースに収めて保管すること。〔収納ケースに収めて保管しないと電源が切れずに電池の寿命が短くなる。なお、本品は電池が交換できない構造である。〕
- ・収納ケースラベルをはがさないこと。〔内蔵されている磁石が外れ、電源が切れなくなることがある。〕
- ・複数の収納ケースを重ねて保管しないこと。〔電源が切れないことがある。〕

【電池寿命について】

- ・予測検温にて、約10,000回以上ご使用になれます。

【保守・点検に係る事項】

【保守・点検上の注意】

- ・しばらく使用しなかったときは、使用前に必ず作動（電源が入ること、「℃」マークの表示が薄くなっていないことなど）を確認してから使用すること。
- ・本体と収納ケースを洗う際は、水で洗うこと。収納ケースに収める際、乾いた布等で水気を拭き取ること。
- ・消毒する場合は、消毒用アルコール綿で拭拭すること。クレゾールは使用しないこと。〔故障の原因となる。〕
- ・シンナー等の有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かないこと。〔有機溶剤や使用可能な消毒液以外を使用した場合、本品の破損、変色や故障の原因となる。ポビドンヨードで拭くと色素が付着することがある。〕
- ・水、消毒液等に長時間浸さないこと。水、消毒液等に浸す場合は、必要な時間だけ行うこと。〔本品は防浸構造であるが、長時間の浸漬は故障の原因となる。消毒に必要な時間については消毒液の添付文書参照のこと。〕
- ・ガス消毒器等による本品の滅菌、消毒はしないこと。〔故障の原因となる。〕
- ・ドライヤー等を使用して乾燥させないこと。〔本品が破損や故障する可能性がある。〕
- ・熱湯消毒しないこと。〔故障の原因となる。〕
- ・超音波洗浄はしないこと。〔故障の原因となる。〕

【包装】

- ・1個／箱 （コード番号：ET-C202S）
- ・10個／箱 （コード番号：ET-C202H）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：テルモ株式会社
住 所：東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目4番1号
電 話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

製 造 業 者：テルモ株式会社

